



白馬
高校

HAKUBA H.S. Report Channel

白馬高校レポートチャンネル

令和3年12月13日（第164号）

発行：白馬高校 教務係

TEL 0261(72)2034(代表)

ホームページも

ご覧ください⇒



11月18日 第1回恩返しプロジェクト



日頃からお世話になっている地域の皆さんに何かできるがないかと始動した「恩返しプロジェクト」。その第1回目の企画として、今回は村内の清掃を実施しました。生徒会総務を中心に30名ほどの生徒が集まり、白馬駅方面・学校周辺・寮方面と3組に分かれて、落ち葉掃きやゴミ拾いを行いました。回収した落ち葉が山のように積み上げられている様子に参加した生徒たちも驚いていました。現在、第2弾に向けて企画を練っていますので、ご期待ください。

11月24日 県立図書館研修



1年生の「総合的な探究の時間」では、生徒が自分の興味・関心のあることからテーマを設定し、探究学習を続けています。今回はその一環で、長野市にある県立図書館において研修を行いました。図書館職員の方から説明を受けながら生徒それぞれが設定した問いについてヒントとなる資料を探し、本を読みながらメモをとっていました。

生徒からは、「『読書をすることの大切さとは』という自分の問いにつながる手がかりを見つけることができた。」「『音楽はどのようにして生まれたのか』という問いだと、問いの範囲が広すぎて難しいということに気付いたので問いの範囲を狭めて考えることにした。」などの振り返りがあり、それぞれが自分の問いについて考えを深めたり、再考したりしました。今回の学習を踏まえて、これからも自分が納得できるまで探究を続けていってほしいと思います。



国際観光科2年生が「高校生ホテル」と称したおもてなし実習を実施しました。2年ぶり3回目となる今回は白馬八方温泉の「しろま荘」様と「丸金旅館」様にご協力いただき、2館合わせて23組45名のお客様を迎え、生徒が接客サービスを行いました。

初めのうちは、硬い表情での接客でしたが、徐々に緊張もほぐれ、明るく笑顔でお客様に接するようになりました。食事の時間には、スクリーンを使用して長野県クイズを行うなど、工夫を凝らした自分なりのおもてなしでお客様を楽しませていました。

翌日、チェックアウト業務を終え、玄関でお客様を見送った生徒たちの顔は安堵感と達成感に溢れていました。無事に「高校生ホテル」を終えた生徒からは「接客業の難しさを身をもって学んだ。」「従業員さんたちのおかげで、楽しい旅行ができていたと改めて気付いた。」という感想が上がりました。今回の貴重な体験を生徒たちの進路・職業選択や白馬村の活性化に活かしてほしいと思います。



12月6日 台湾学校 オンライン交流

1年生普通科、国際観光科の生徒が、ウェブ会議システムを用いてベトナム・ホーチミン台湾学校の生徒と英語で交流しました。両校の生徒それぞれが自己紹介を行ったのち、白馬の生徒はスキー場や八方池など白馬の魅力を紹介し、最後に自作したクリスマスカードをオンライン上で交換するなど、親睦を深めました。

初めてのオンライン交流を終えた生徒からは「台湾の生徒たちはみんな堂々と英語を話していた。」「私も（台湾の生徒のように）スラスラ話せるようになりたい。」「次はお互いの文化について話してみたい。」などの振り返りがあり、同世代の生徒から大きな刺激を受けるとともに、次回交流への期待をにじませました。同校とは本年度中にもう1度交流を行う予定なので、今回の体験を踏まえて、より深い交流を行っていききたいと思います。

